学校だより　第 11 号

加曽利中

千葉市立加曽利中学校
令和２年２月７日

学校評価の結果について

校　　長

本校では、学校運営や教育活動に関して、目指すべき目標に対する達成状況をチェックし、その改善を図るために学校評価を実施しています。また、結果を公表することにより、保護者や地域の皆様から理解と参画を得て、連携して学校づくりを進めていきたいと考えています。

教職員は自己評価として、生徒と保護者の皆様にはアンケートという形で学校評価を実施しました。学校評価アンケートは、「学校運営や教職員、地域についての質問」と「生徒の実態についての質問」に分かれています。それぞれの項目を４から１までの４段階で評価し、平均値を載せてあります。

令和元年度　学校評価アンケートの集計結果　　**＜実施月：令和元年 12 月＞**

【評価基準】　４:あてはまる　３:ややあてはまる　２:あまりあてはまらない　１:あてはまらない

	学校運営や教職員、地域についての質問	教職員評価		生徒評価		保護者評価	
		H30	R1	H30	R1	H30	R1
1	生徒は明るく前向きに学校生活を送っている。	3.0	3.0	3.3	3.3	3.4	3.3
2	授業では、授業規律やルールが徹底されている。	2.6	2.3	2.3	2.4	2.9	2.8
3	わかりやすい授業を心がけ、基本的な内容を身につけさせている。	3.1	3.0	2.9	3.0	2.9	2.9
4	個への支援を取り入れた授業や指導を心がけている。	3.0	2.8	3.1	3.3	2.7	2.8
5	道徳などで、生命尊重・思いやりの心を育成している。	2.8	2.7	3.2	3.4	3.0	3.0
6	健康や安全、生活習慣について適切に指導している。	3.1	3.0	3.2	3.2	3.1	3.0
7	生徒に目的や夢、希望をもたせ、計画的に粘り強く取り組ませている。	3.1	2.7	3.0	3.0	2.8	2.8
8	生徒の主体性を育てる行事運営により、生徒に達成感を味わわせている。	2.9	2.8	3.1	3.1	3.0	3.0
9	あいさつや声かけなど、積極的に生徒とコミュニケーションを図っている。	3.4	3.4	3.4	3.4	3.2	3.2
10	社会のルールや学校のきまりをきちんと教えている。	3.2	3.2	3.2	3.3	3.1	3.0
11	一人一人の良さを見いだし、認め、伸ばす生徒理解をしている。	3.1	3.2	3.1	3.1	3.0	2.9
12	生徒に寄り添い、話をよく聞き、生徒を大切にした生徒指導を行っている。	3.1	3.2	2.8	2.8	3.0	2.9
13	「だめなものはだめ」「良いことは認める」ぶれない生徒指導を行っている。	3.1	2.9	3.3	3.3	3.0	2.9
14	いじめ、不登校、問題行動などの早期発見と敏速な対応を行っている。	2.8	2.9	2.7	2.6	2.8	2.7
15	一人一人に居場所のある学級づくりをし、自己肯定感をもたせている。	2.9	2.7	2.6	2.6	2.9	2.9
16	積極的に授業参観や行事案内をし、学校公開に努めている。	2.5	3.0	3.2	3.2	3.2	3.4
17	学校だより、ＨＰ、学年だよりを充実させ、積極的に発信している。	2.6	2.8	3.7	3.6	3.2	3.2
18	地域の行事への協力や、地域の人材活用に積極的である。	2.5	3.0	3.3	3.3	3.2	3.2
19	ＰＴＡや地域の人たちが、生徒を温かく見守り励ましてくれている。	3.7	3.4	3.4	3.4	3.3	3.3
20	やりがいをもって、自分の分掌に取り組んでいる。	3.3	2.9				
21	教師間・学年間で積極的にコミュニケーションをとり、協力し合っている。	3.3	3.0				
22	教材研究や指導法の勉強をし、指導力を向上させている。	3.0	2.8				

23	保護者と連携を十分にとり、丁寧な対応をしている。	3.1	3.0				

生徒の実態についての質問		教師評価		生徒評価		保護者評価	
		H30	R1	H30	R1	H30	R1
1	生徒はあいさつができ、礼儀正しく人に接している。	2.8	2.5	3.5	3.4	3.3	3.3
2	生徒は、社会のルールや学校のきまりを守って生活している。	2.5	2.2	3.4	3.4	3.3	3.3
3	生徒は、授業や学校生活に落ち着いて取り組んでいる。	2.7	2.2	3.3	3.3	3.2	3.2
4	生徒は、相手の立場や気持ちを思いやり生活している。	2.7	2.4	3.4	3.4	3.2	3.3
5	生徒は心身の健康に気を配り、遅刻・早退・欠席が少ない。	2.4	2.2	3.4	3.4	3.4	3.4
6	生徒は清掃に一生懸命取り組んでいる。	2.5	2.2	3.3	3.4	3.3	3.4
7	生徒は係活動などに責任をもって取り組んでいる。	3.0	2.8	3.4	3.4	3.5	3.5
8	生徒は部活動に積極的に参加し、体力や技術を向上させている。	3.2	2.8	3.2	3.3	3.3	3.3
9	生徒は素直な気持ちをもち、色々な人の考えを受け入れようとしている。	2.9	2.5	3.3	3.4	3.2	3.2
10	生徒は、やってはいけないことを誘われても断ることができる。	2.6	2.2	3.5	3.4	3.3	3.4
11	生徒は、家庭学習や次の日の準備をしっかりと行っている。	2.5	2.2	2.9	3.1	2.8	2.9

アンケート結果の分析と本校の課題

学習指導では、わかりやすい授業、個への支援を取り入れた授業に関して、生徒評価もよく、各教科で丁寧な授業が行われていることがわかります。基礎学力の向上を目指して行われている、「学び舎集会」、「ねらいを明確にした授業」、「帰りの学活でのドリル学習」、「テスト前の学習相談」等については、次年度も引き続き全校体制で取り組み、わかりやすい授業を通して、粘り強く学習に励む生徒の育成を図っていきたいと考えています。また、時間への意識、話の聞き方、発言の仕方等、学習におけるルールも全教科で徹底していく必要があります。

生徒が明るく前向きに学校生活を過ごす項目については評価も良く、元気なあいさつ、日々の係や専門委員会の活動等、自らの役割分担を自覚した取り組みが数値的に表れていると考えられます。　また、体育祭やＫＭＦ（合唱コンクール）、各学年の行事に関しても各実行委員会を中心に積極的に取り組んでいる様子から充実した学校生活を送ることができていると考えます。更に活発な学校生活につなげるため、各行事で得た感動や団結力、学んだ内容を日々の生活にいかすことが必要であると考えます。

生徒と教職員のコミュニケーションや「だめなものはだめ」「良いことは認める」ぶれない生徒指導などの項目では、一人一人の良さを伸ばしながら、社会に出たときに必要な力を育てようとしている結果が表れていると考えます。しかしながら、居場所ある学級づくり、自己肯定感の育成、いじめや不登校、問題行動などの早期発見と敏速な対応等の項目から、疎外感や自己否定の気持ちを抱えている生徒も少なからずいると考えられます。個々をいかし、温かみのある学級づくりを目指すとともに、教育相談などで意図的に個々の内面を把握する手立てを工夫し、不登校生徒を減らすことが課題であると言えます。

地域に開かれた学校を目指した取り組みとしては、「学校の自由参観」「学校だよりや学年だよりの発行」「地域行事への積極的な参加」「地域訪問や職場体験等の地域に根付いた学習」を行い、教職員、生徒、保護者とも高い評価を得ています。今後も加曽利中を大切に見守ってくださっている地域力を誇りとして活動していきたいと考えます。

生徒の実態に関する評価では、係活動における責任感や部活動への積極的な参加などの項目については比較的高い数値となっています。しかし、その他の項目については、教職員と生徒・保護者との評価に差があり、目指す生徒像の共通理解が図れていないと考えます。どのような生徒・学校を目指すことが、自分の可能性をひろげられるのかを考えさせる時間を設け、教職員・生徒・保護者の共通理解のもと、教育活動を進めていきたいと考えます。

最後に、保護者の皆様、多くの御回答ありがとうございました。今回の学校評価を真摯に受け止め、次年度に向けて改善してまいります。今後とも保護者の皆様、地域の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

（文責　教務）